

ご協力ありがとうございます！

(平成29年8月1日～9月25日、敬称略)

新入会: 梅村高司、三浦悟美、國武希美、城北電気(株)、園田電氣管理事務所、九州日本語学院、(株)カクマル

寄付金: 片桐英博、(株)上村真珠、中島キヨ子
オイスカチャリティーゴルフ実行委員会

寄付品: 丸善自動車、梅村高司、伊藤正、泉利佳、園田法文、横田進太、宮崎あかね、西村征子、コテージガーデン、菊池地方指導農業者連絡協議会

体験農園便り

9月23日お彼岸の時期を迎えると、脇山の田んぼの畦には紅色の彼岸花がきれいに咲き乱れます。たわわに実った稲穂の黄色と、彼岸花の紅色、そして真っ青な空が織りなすコントラストは、秋のふるさと感満載の景色であります。今日もこの秋のふるさとの景色を撮るために、沢山のカメラ愛好家の方がレンズをのぞいていました。今年の夏も大変な猛暑で、いつになったら秋が来るのだろうか心配していましたが、9月に入ってからは朝夕の冷え込みが急に訪れました。気候変動が著しい中で、それでも彼岸花は待っていましたといわんばかりに、9月15～18日にかけてちらほらと花を咲かし、お彼岸の日に満開を迎えます。土の中にいる彼岸花の球根はどうやって季節を感じているのであろうと、毎年不思議に思っているが、その答えを探そうという気は全くなく、また来年のお彼岸を迎えるのです。(豊田)



Cross Road ～情報交差点～

10月の予定

- 1日(日)脇山小学校運動会☆研修生も出場します！
- 2日(月)マレーシア独立パーティー
- 3日(火)オイスカ西日本研修センター設立50周年記念式典
- 7日(土)OB 研修生を囲む会☆詳細は別紙をご覧ください。
／体験農園稲刈り
- 10日(火)技能研修生3名入所
- 13日(金)～15日(日)九州電力総連宿泊研修
- 14日(土)脇山校区稲刈り大会
- 18日(水)高田川部屋先発隊入所☆さあ今年も始まりますよ～
- 21日(土)佐賀料理交流会／基山草スキー大会
- 28日(土)朝倉秋の子ども祭り☆研修生が出演します！
- 29日(日)太宰府コンサート☆野菜を販売します！
- 30日(月)ちゃんこ祭り

鬼木大明神 今月の一句

若い！元気良い！とは年齢ではなく心のありさまを言うのだ！すべてが自分の心構え、自分の心の在り方次第で自分の人生、人格が決まるのだ。決めるのは自分。己れの心で決めるのだ！！

喝

アテリナの一宮言わせて

50周年記念式典にたくさんの西日本研修センター卒業生が帰って来る予定です。私が担当しているいろいろな国のOBと連絡を取り合っています。本当にみんな来てくれるのか？？不安でいっぱいです。だけど、当日みんなが集まったときのことを想像すると何だか不思議な感じ。嬉しいな～。
みんな無事に帰ってこれることをただただ願います！！

パラオ共和国のOB 来所

8月8日パラオ共和国出身のOB研修生のケルビンさんが32年ぶりに西日本研修センターを訪問してくれました。彼は当時を懐かしく振り返り現在の研修センターを見学、研修中の研修生たちにも激励をしてくれました。また西日本研修センター設立50周年の年に来所できたことに感激し、パラオ共和国の国造りに意欲を燃やすなど更なる活躍が期待されます。ケルビンさん頑張って下さい。(満川)



まるごと!西日本



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oisicantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第 649 号

平成 29 年 10 月号付録



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

研修旅行 in 広島 & MUFG 四国地区交流会

9月23日にオイスカ四国研修センターで行われた MUFG 四国地区交流会に併せて、広島、四国へ研修旅行に行ってきました。前日の22日に、宮島と平和記念公園を訪れました。宮島では日本らしい造りの建物に感激し、研修生同士写真の撮り合いっこに忙しそうでした。原爆資料館ではメモを片手に真剣な目で見学し、それぞれ何か感じたようでした。23日の交流会では、約30名の社員の方に参加頂き、5か国の料理作り、サツマイモの収穫、ダイコンの種まきを研修生と一緒に行って頂きました。作業中、研修生との会話も弾み「ぜひ研修生の国に行ってみよう」という声もあり、研修生も嬉しそうでした。日頃なかなか研修の様子を見て頂く機会がないので、今回、頑張っている姿を見て頂けて良かったです。翌日は朝から讃岐うどんを食べ、こんぴらさんへ。その後、しまなみ海道を渡って山口県の秋芳洞へ行きました。この3日間、大変充実し、研修生にとって忘れられない思い出がまた一つ増えました。(榮)



夏のホームステイ

研修生にとって初めての民泊体験がこのお盆のホームステイです。期待と不安を胸に8月12日から14日までの2泊3日のホームステイを体験させて頂きました。美味しいものをご馳走になったり、いろいろな体験やお話をさせて頂き、みんなとても楽しそうに帰ってきました。日本での新しい“お父さん・お母さん”ができ、彼らのこれからの研修へのいっそうの励みになることと思います。お忙しい中、快く受け入れてくださいましたホストファミリーの皆さま、ありがとうございました。(彦坂美保)



次回は年末年始です。
ニューホストファミリー募集
中です♪



朝倉復興支援

7月5日に発生した九州北部豪雨被害において、オイスカでは翌週の7月11日よりオイスカ朝倉推進協議会と連携しながら、朝倉市、東峰村地区在住のオイスカ関係者のニーズに応える形でボランティア活動をスタートさせました。活動頻度は週2回のペースで行い、8月に入ってからは合計8回ボランティアを派遣し、8月10日にはセンターの地元早良高校の生徒も一緒に参加して、東峰村地区において倉庫に入った泥出しの作業を行いました。猛暑日が続く暑い中での作業は本当に大変でしたが、被災された方が1日も早く落ち着いた生活が取り戻せるようにと、研修生、スタッフがー丸となって取り組んできました。研修生にとっても今回のボランティア作業の経験は、今後起こりうる自国での自然災害などの問題が発生した場合に備えて、大いに役に立ったのではないかと思います。10月以降についても、農業分野の復興も含めてボランティアを継続していく予定です。(豊田)

福岡農業高校宿泊研修

7月31日から8月1の一泊二日で福岡農業高校の生徒9名がセンターで宿泊研修を行いました。研修生と一緒に冬野菜の播種や研修生の母国の料理作り交流を行いました。一番盛り上がったのは、高校生が準備してくれた日本昔話の劇発表会でした。3つの昔話グループに分かれ、短時間で練習。研修生は難しい日本語に頭を抱えていましたが、最後の発表ではばっちりお芝居になっていました。日本の昔話の面白さを知ったのか、交流会後の数日間、セリフを口ずさんでいました。また、お互い日頃農業を勉強している為、どんな野菜を育てているのか、高校ではどんな科目で農業を勉強しているのかなど農業トークが多く、研修生

も日本の農業高校に興味深々の様子でした。(榮)



福岡農業高校専攻科 SPH事業における交流活動

以前より福岡農業高校とは交流を持たせて頂き、毎年オイスカでの宿泊研修、また研修生の学校見学なども行わせて頂いていましたが、今回はその福農の専攻科の学生の皆さまが来所されました。専攻科では、平成26年度より5カ年、文部科学省の「スーパープロフェッショナル・ハイスクール(SPH)」の研究指定校の指定を受け、この研究事業の柱となる「マネジメント学習」の一環で実施される「交流活動」として「アジアの農業の実態を学び、海外の研修生との交流を通して国際的意識・農業技術の向上を図る」目的として今回オイスカを訪問されました。初めての事でもあり短い時間ではありましたが、研修生から母国での農業や食文化について紹介を受け、またセンターの企業内転勤職員のドイ(フィリピン)からフィリピンの農業の現状について簡単に説明をしてもらいました。短い時間ではありましたが、学生の皆さまの学習の多少なりともお役に立てたと思います。(彦坂)

オイスカ西日本支部インドネシア共和国視察

西日本研修センター設立50周年を機会に、西日本支部運営委員会より「オイスカ活動が現地ではどのように展開されているか?」と、それぞれの企業より選出頂いた6名と共にインドネシアに向かいました。インドネシアでのオイスカ活動は既に40年を迎え、訪日研修生も400名となりました。活動はインドネシア全土に広がり、世界で4番目に多い人口を有するかの地でOB達が活躍していました。研修センターを運営する者、会社を営む者、農業を営む者、国会議員として環境保全に活動する者...スカブミセンターでは、西日本センターのOBが所長、スタッフとして多くの卒業生が後輩の指導に当たっています。地域住民とも連携をとり、活動している姿は本当に頼もしいものでした。短期間の厳しい日程でしたが、参加頂いた方々、ありがとうございました。是非、このオイスカ活動を多くの方に語っていただきたいものです。(廣瀬)



フィジー共和国 OB 調査出張

8月27日～9月4日、南の楽園フィジーに出張してきました。「フィジーに出張」というと、「いいねえ遊びに行けて」と言われるのですが、決して遊びではなく今回の業務は、OB研修生の追跡調査はもとより、オイスカフィジー研修センターが継続的に活動出来るように、農場運営に関するアドバイスを行う事が主な目的でした。また、訪問中にOFETAというフィジー訪日OB研修生の組織のミーティングが開催されたため、その席においても集まった20名程のOBに対し話をする機会もありました。OB調査については、研修センターのあるビチレブ島を半周する形で、8名のOB研修生の活動場所を訪問してきました。昔ながらの伝統的なタロイモやカバの栽培を行っている者、フィジーで有数のツアー会社とリゾートホテルを営んでいる者など、フィジーのOBは多方面で活躍していました。これからオイスカの海外プロジェクトは、財政的に厳しい局面を迎えていますが、今まで築きあげてきたOB研修生同士のネットワークを、オイスカ活動を発展させていくための重要な財産として活かしていく事を推進していくと同時に、日本国からもしっかりと応援していきたいと思えます。(豊田)



朝倉光陽高校 交流会

今年も朝倉光陽高校の生徒会・農業・家庭クラブの17名の生徒の皆さんが研修のためオイスカを訪問されました。当日は、オイスカの活動紹介の後、農業体験でキャベツ、ブロッコリーなどの種まきを研修生と一緒にしてもらいました。その後、ベトナムとフィリピンの料理づくりを行い、みんなで美味しくいただきました。昼食後は、研修生による国の紹介に続き生徒の皆さんから学校紹介と準備して頂いた、ゲームなどをして交流を深めました。学生の方の中には、先の豪雨被害で家など被害を受け、ケガをした人もいたそうです。研修生も朝倉、東峰村へのボランティアに何度も行ってたため今回楽しい交流が出来たことは、とてもよかったと思います。冬には学校へお邪魔する機会もあると思いますので、またその時を楽しみにしています。(彦坂)



東京国際大学 インターンシップ

8月2日から一週間、東京国際大学より2名インターンシップに来ました。農業実習を中心に、出荷にも行ってもらったり、ちょうど夏休みの森のつみき広場の期間中だったので、つみき広場にも行ってもらい、オイスカの活動を幅広く体験してもらいました。また、一週間研修生と同じ日課で作業してもらいました。朝5:30の収穫から始まるので、「普段夜が遅いので朝がちょっときついですねえ...」と辛そうな初日でしたが、最後には「朝から元気な研修生達に元気もらうし、朝が気持ちいいです!」と、オイスカの清々しい朝が印象的だったよう



です。ここで得たものが将来何かに少しでも役に立つと嬉しいです。(榮)

子どもの森ワークキャンプ In フィリピン

8月17日～21日、子供の森ワークキャンプ2017の植林ツアー一行7名で(北九州市事務局)フィリピン共和国ルソン島北部のヌエヤ州及びヌエバビスカヤ州を訪問しました。現地では子供の森認定校を訪問しての植林活動等や特にヌエバビスカヤ州のアリタオ地区では20年以上にわたる植林活動で500ヘクタールの山々が鬱蒼と茂った森になっており、これまでのワークキャンプ参加者の植林ボランティア活動をはじめ日本で研修を受けたOB研修生達のたゆまぬ努力の成果が地元地域の環境保全に大きく貢献していました。みなさまこれからもご支援よろしくお祈いします。(満川)

